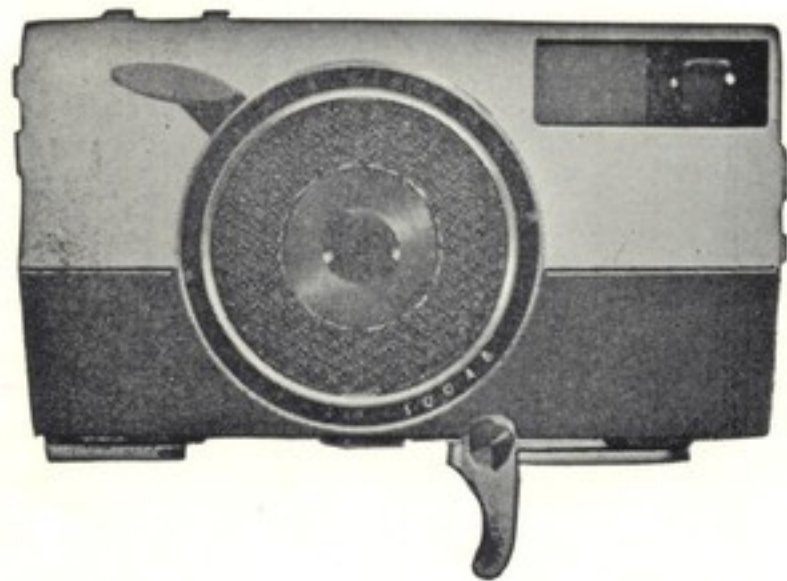


RICOH ***AUTO*** ***35***



まえがき

お買上げいただきましてまことにありがとうございます。
ございます。

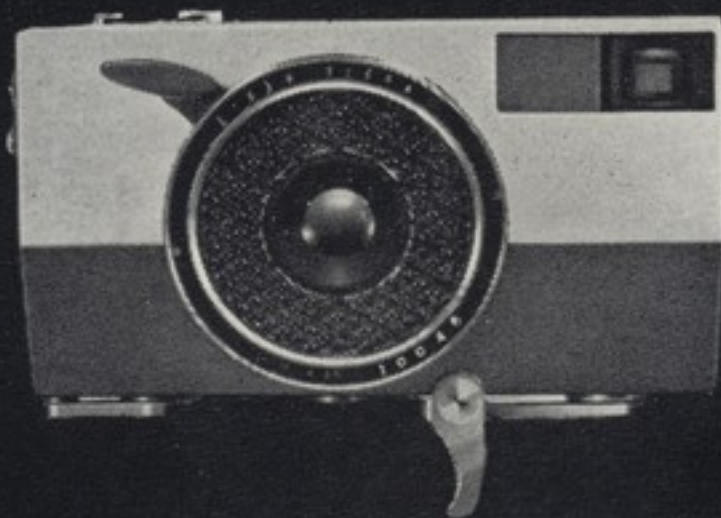
あなたが今お手にとられているリコーオート
35は、リコーフレックスで世界的に有名な理
研光学が、長い経験と、すぐれた技術と、そ
れに近代化されたオートメーション設備とを
駆使して生み出した、新しい夢のカメラです。
このカメラは、

①写真は写したいが取扱いがむづかしくて…
…と、しりごみしていたかたがた

②複雑な機構のカメラをさんざん使いこな
して、たまには楽な気持ちでのびのびと写真
をとりたいと考えていらっしゃるかたがた

そのどちらにもじゅうぶん満足していただ
こうと、欲張った考えで作ったものです。で
すから、使いかたの説明にも、ついそのよう
な性格が出てまいります。カメラを使いな
れたかたがたには少し歯がゆいところも出
てくるかもしれませんが、そういうところは
どんどぼしてお読みください。

2 では、どうぞ……………



写しかたのすべて

このカメラは、けっしてむつかしくない

1 フィルムを入れる

いくら最新型のカメラでも、フィルムを入れなければ写りません。

◎めんどうだと思われる方は、カメラ屋さんに入れてもらってください。

◎ご自分で入れたいと思われる方は、10ページをお読みください。

2 ファインダーをのぞく

のぞきますと、光る枠が見えます。この枠内の範囲が写るのですから、写したいものを枠の中におさめてください。

なお、銀色の針が枠の赤線部分にかかっているときは、明るさが足りなくて写りませんからご注意ください。

(17ページ参照)

3 シャッターを押す

クライマックスです。ただし、これまでのカメラですと、写したという満足のカ

ゲに、うまく写ただろうか、という心配がちょっぴり残る瞬間でもあります。……リコーオート35では、この心配だけ余計です。

4 フィルムを出して、現像・焼付

現像・焼付はDP屋さんにとのむとして撮り終ったフィルムを、ともかく出しておきましょう。

◎めんどうだと思われる方は、カメラ屋さんかDP屋さんで出してもらってください。

◎ご自分で出したいと思われる方は、19ページをお読みください。

*なおくわしい説明は次頁以下をごらんください。ご存知なくても写真をとること自体には何の差支えもありませんが、覚えておかれれば一そう便利、というものです。

まず、リコーオート 35とは どんなカメラか……

リコーオート 35には 3 つの大きな特長があります。この欄でご説明申し上げますが、これはいわば“お見合い”です。どんなカメラか、じっくり理解して、まづあなたのお選びになった愛機に惚れこんでいただきたいと思ひます。

〈1〉 露出計と絞りとが連動するエレクトリックアイ方式の完全自動露出決定機構

たいへんむつかしそうですが、要するにシャッターを押しさえすれば写る、ということなのです。これまでのように、絞りがいくつでシャッタースピード（露出時間）が何分の 1 秒で……などと頭の中で目まぐるしく計算したり、なれない方ですとカメラ天狗の誰彼に“うかがい”をたてたり、さては露出計をひねりまわしたりする必要がゼンゼンないのです。シャッターレバーを押す……ただそれだけで、カメラに内蔵されたオートマツト機構が適正に絞り、適正な時間だけ露出を行います。

〈2〉 固定焦点方式

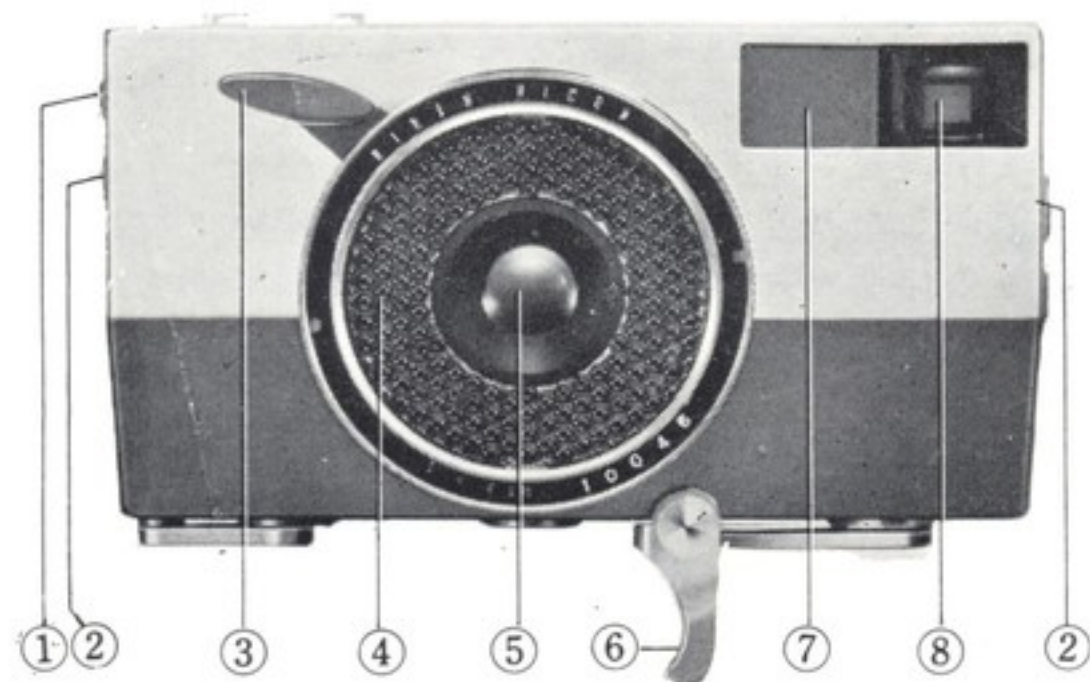
これもきわめて簡単。何もしなくてもセッタイにピンボケができない、ということです。ピントを合わせるためにレバーを動かしたりリングを廻わしたりしているうちにチャンスを逃がしてしまった…という失敗が、もうなくなったわけです。

焦点距離40mmの準広角レンズが使っていますから、焦点深度が深く、1.5mから無限遠まで全域にわたって、いつでもどの位置でもピントが合っています。

〈3〉 トリガーレバーによるセルフコッキング方式

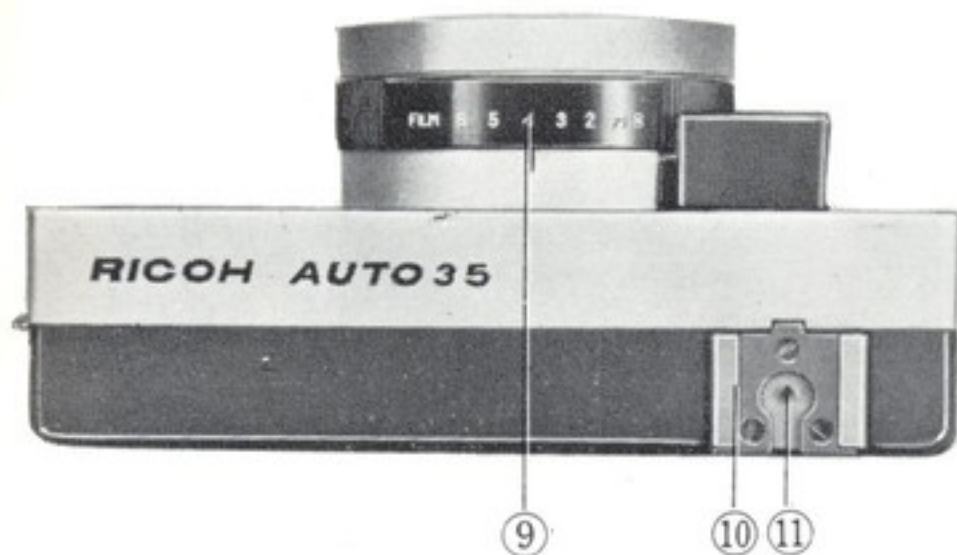
トリガーレバーとは、フィルム巻上げレバーに垂直の把手がついていて指をかけやすくなっている機構です。す早く連続して写したいときに威力を発揮します。また、巻上げと同時にシャッターがセットされ、シャッターを切らなければ次の巻上げができないので、二重写しが防げます。

*以上の3ツは、リコーオート35の切り札ですが、このほかにも、ごらんの通りのさん新たなデザイン、軽さ、定評あるリコーレンズ（F4、3群3枚構成）、ノーコードフラッシュコンタクト（M接点）、自動復元フィルムカウンター、等々、カメラ製造技術の粋が、この1台に結晶したすばらしさです。

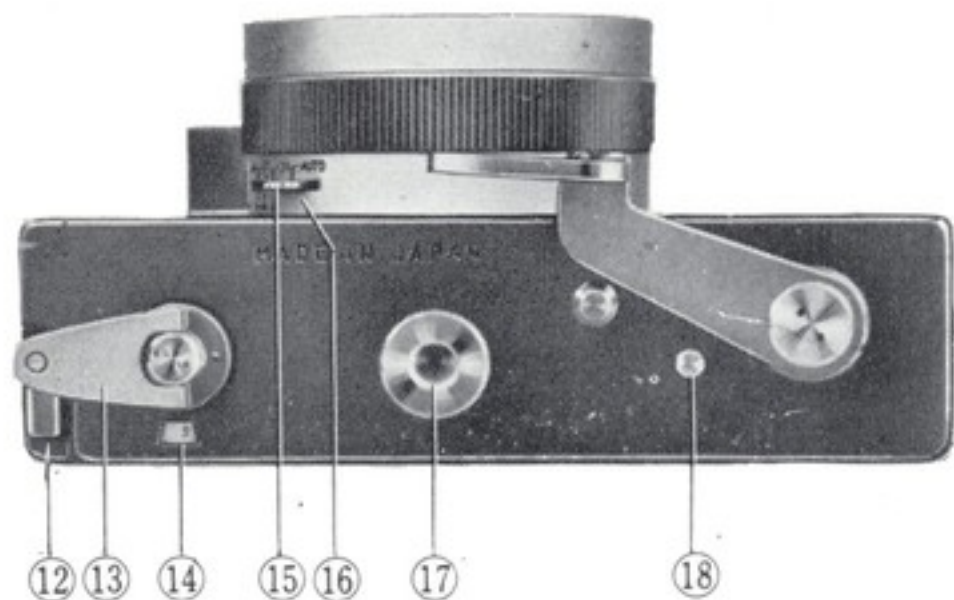


カメラ 各部の名称

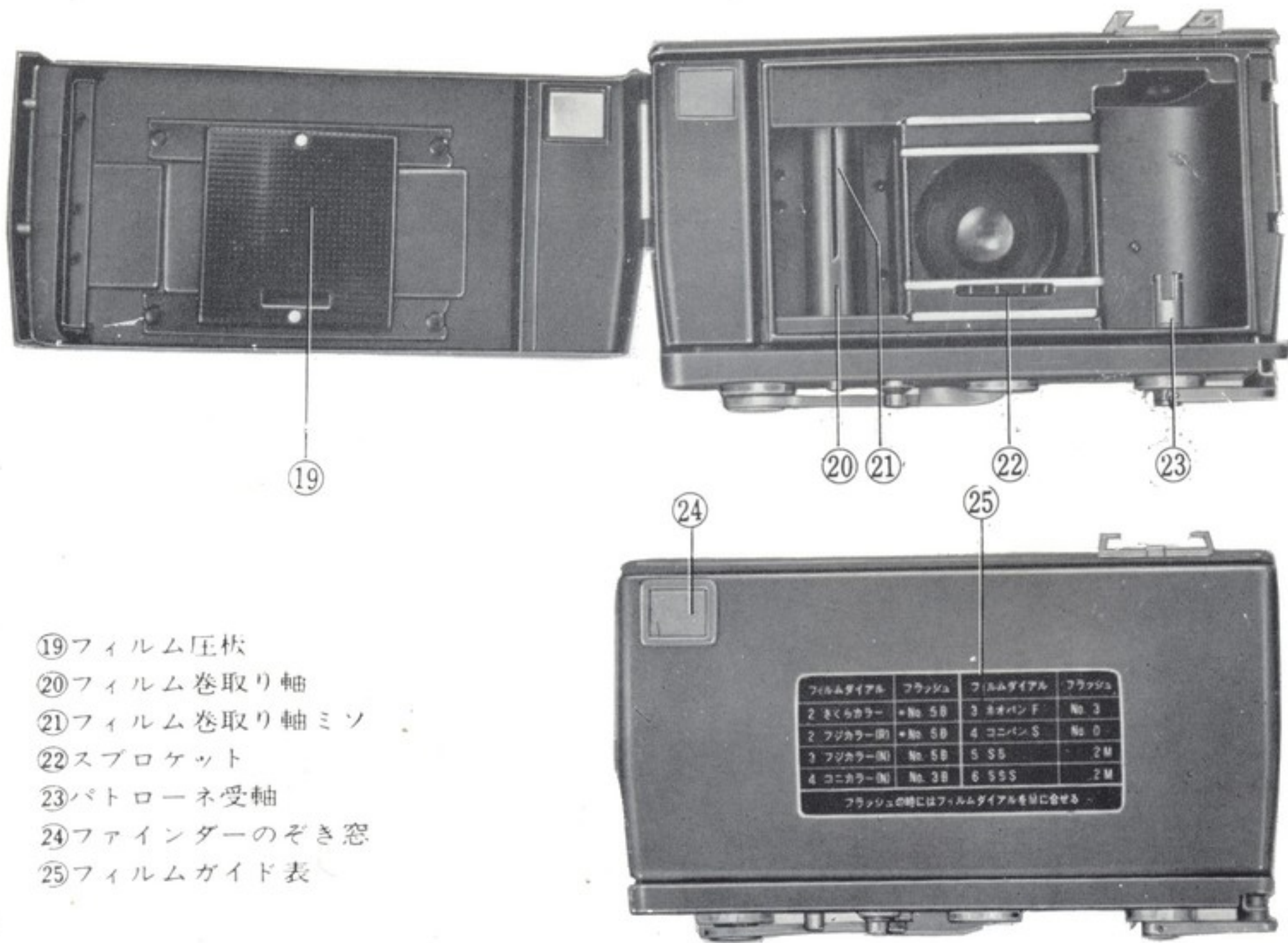
- ①シャッターレリーズ穴(セルフタイマー取付用)
- ②肩ヒモ取付け穴
- ③シャッターレバー
- ④フォトセルリング(受光窓)
- ⑤レンズ
- ⑥トリガーレバー
- ⑦明りとり窓
- ⑧ファインダー窓



- ⑨フィルムナンバーダイヤル
- ⑩アクセサリシュー
- ⑪ノーコードフラッシュコンタクト



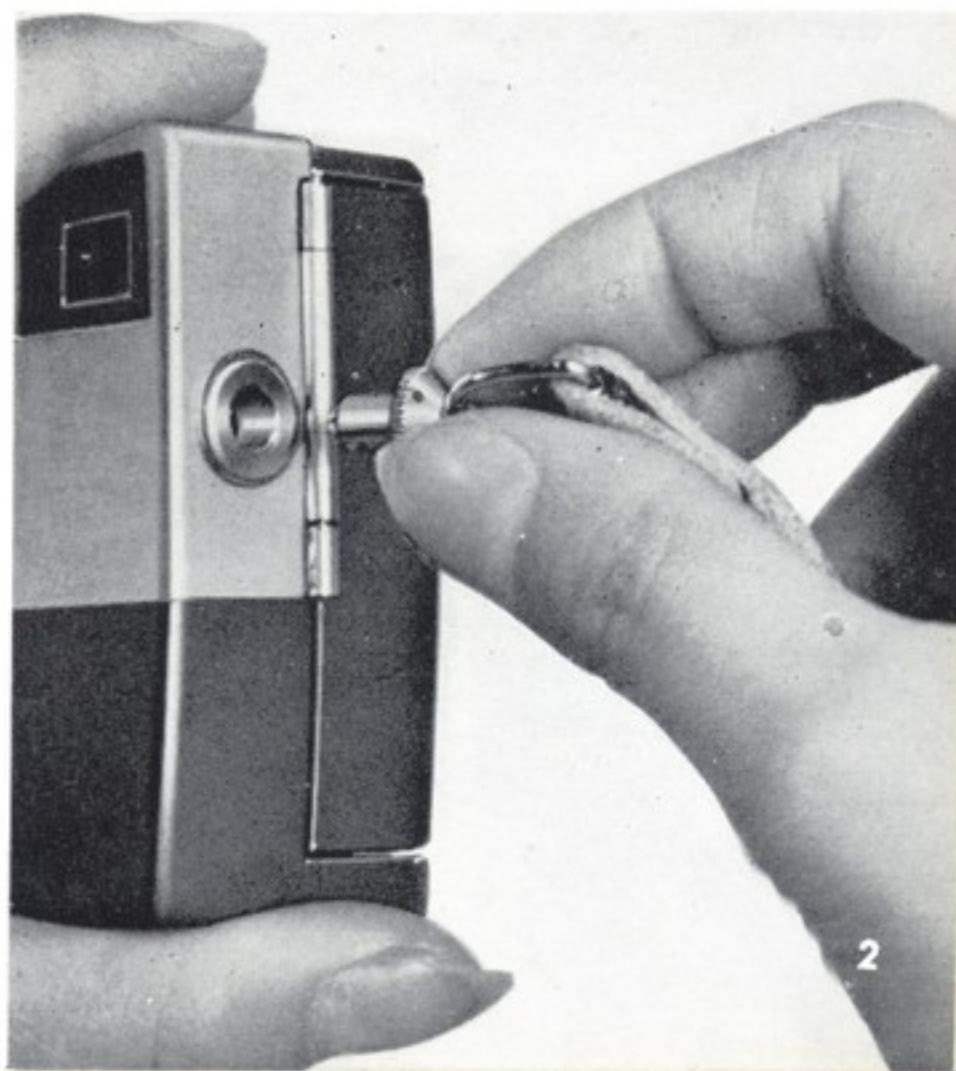
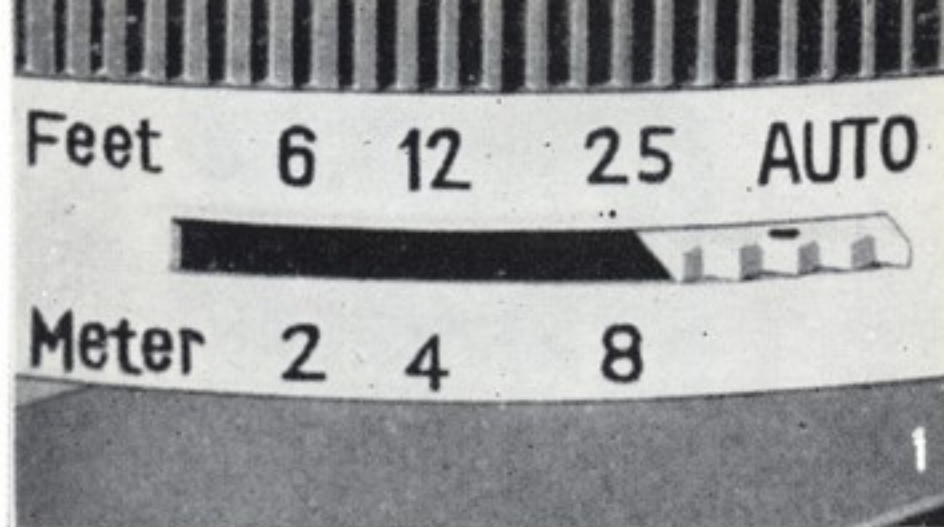
- ⑫裏蓋開閉金具
- ⑬フィルム巻戻しクランク
- ⑭フィルム枚数計
- ⑮フラッシュ撮影用距離目盛
- ⑯フラッシュ撮影距離調節レバー
- ⑰三脚取付けネジ
- ⑱フィルム巻戻しボタン



では、撮影にとりかかります...

<1> 写す前に覚えておきたいこと

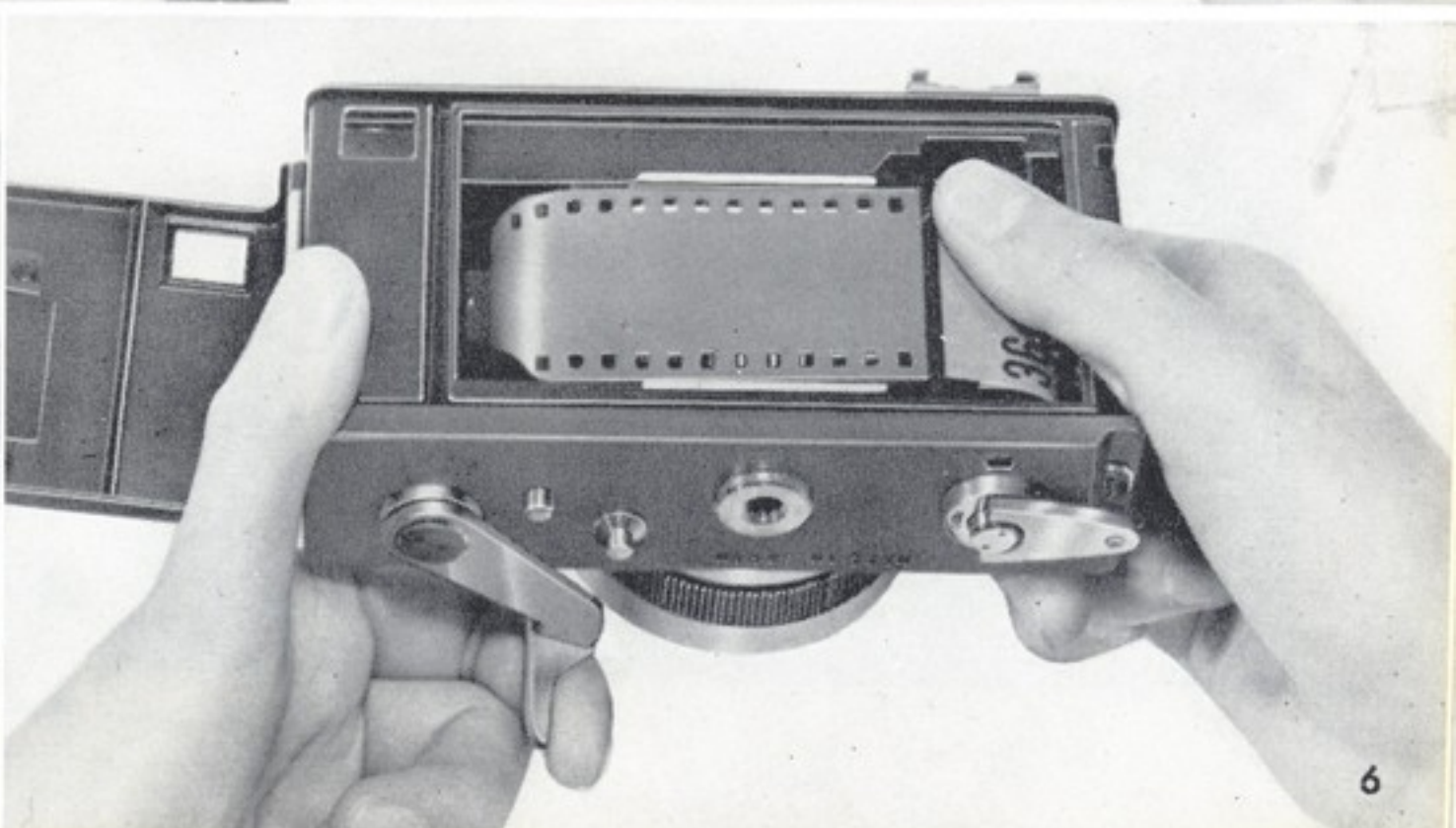
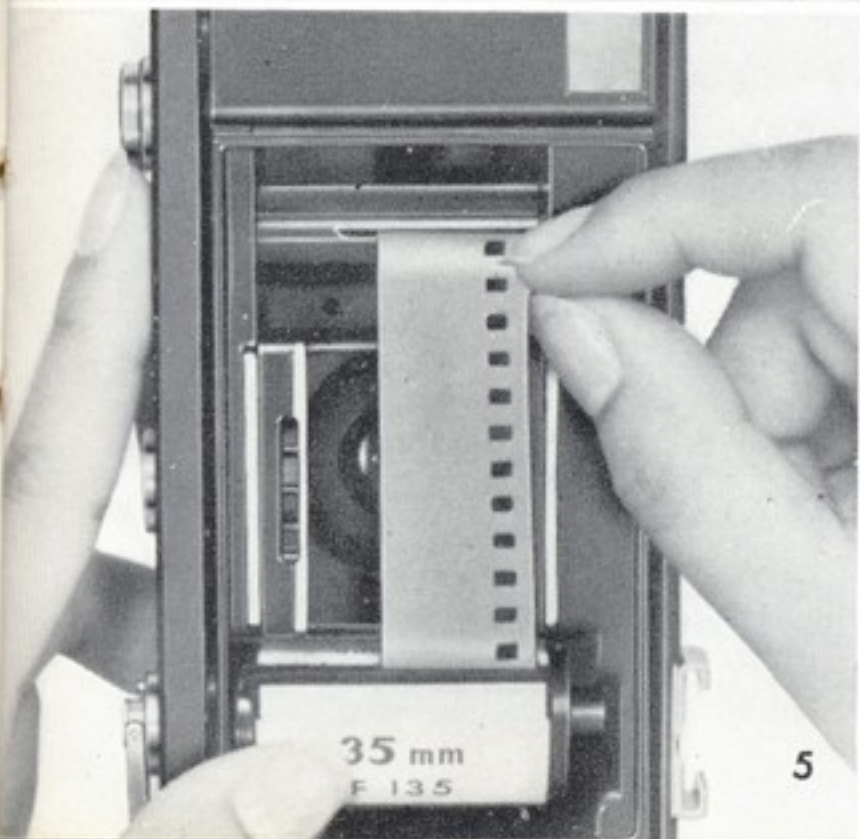
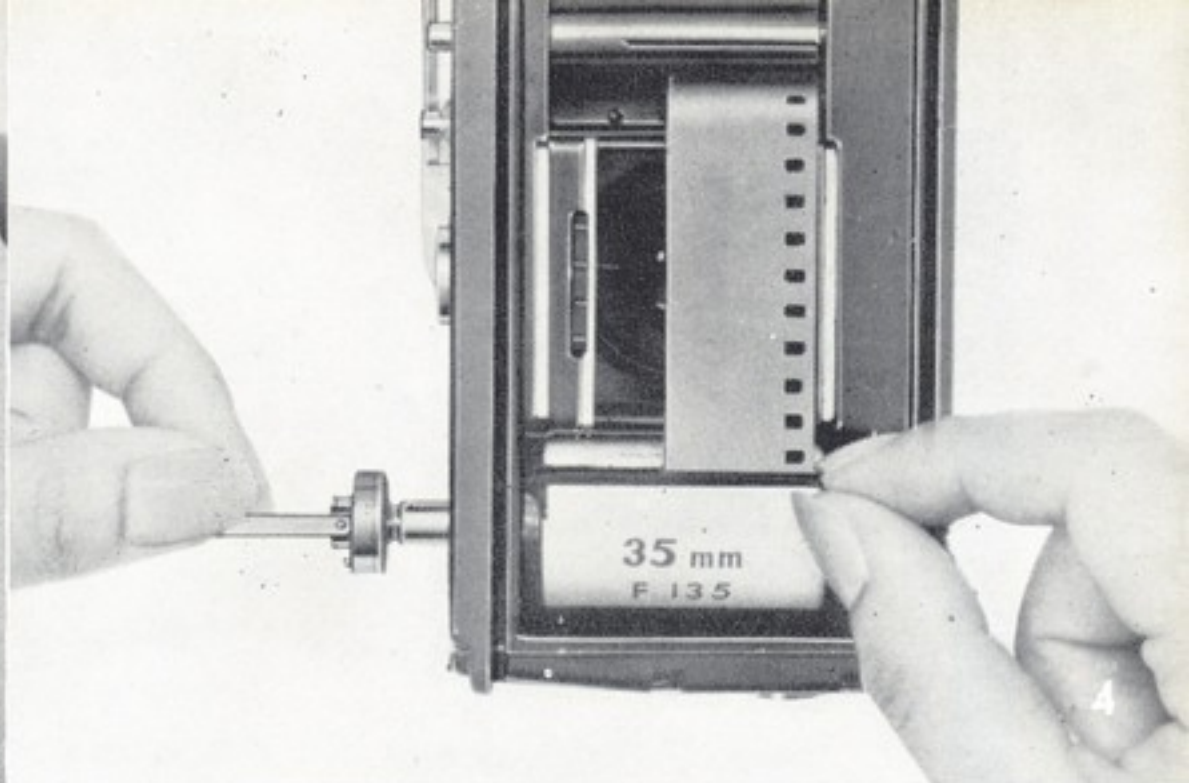
- ① フラッシュ撮影のとき以外は、フラッシュ撮影距離調節レバーを“AUTO”の位置に合わせておきます。(写真1)
- ② フィルムを入れなくてもトリガーレバーを引けば、シャッターがセットされ、フィルム枚数計が動きます。したがってフィルム装填の際、枚数計が“S”にもどってないときは、巻もどしボタンを押えながら、スプロケットをパトローネ受軸の方向にまわしてください。枚数計は“S”にもどります。
- ③ 肩ヒモのつけ方は(写真2)をごらんください。ヒモの両端にある金具の青点を、それぞれ取付け穴の青い半円に合わせ、強く押し込みます。金具のミゾと穴の中のバネが噛み合い、引張っても外れません。外すときは、金具を廻わして、青点を穴の赤い半円に合わせて引き出します。



〈2〉 フィルムの入れ方

フィルムはパトローネ入り35^{mm}フィルム20枚撮りまたは36枚撮りを使います。フィルムを入れるときは、直射日光を避け、つぎの要領にしたがってください。

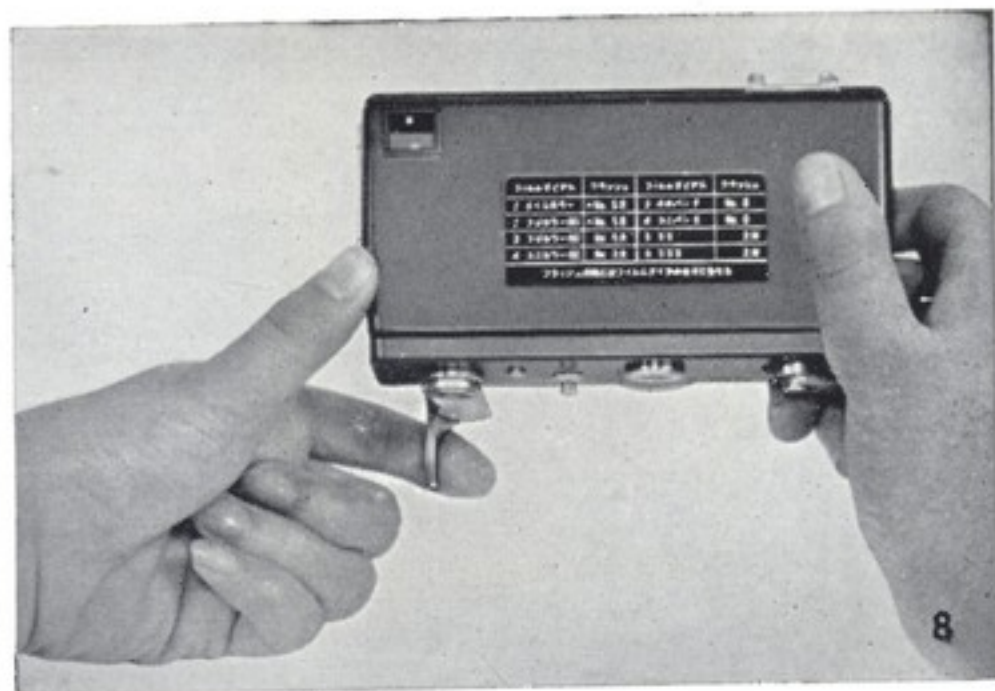
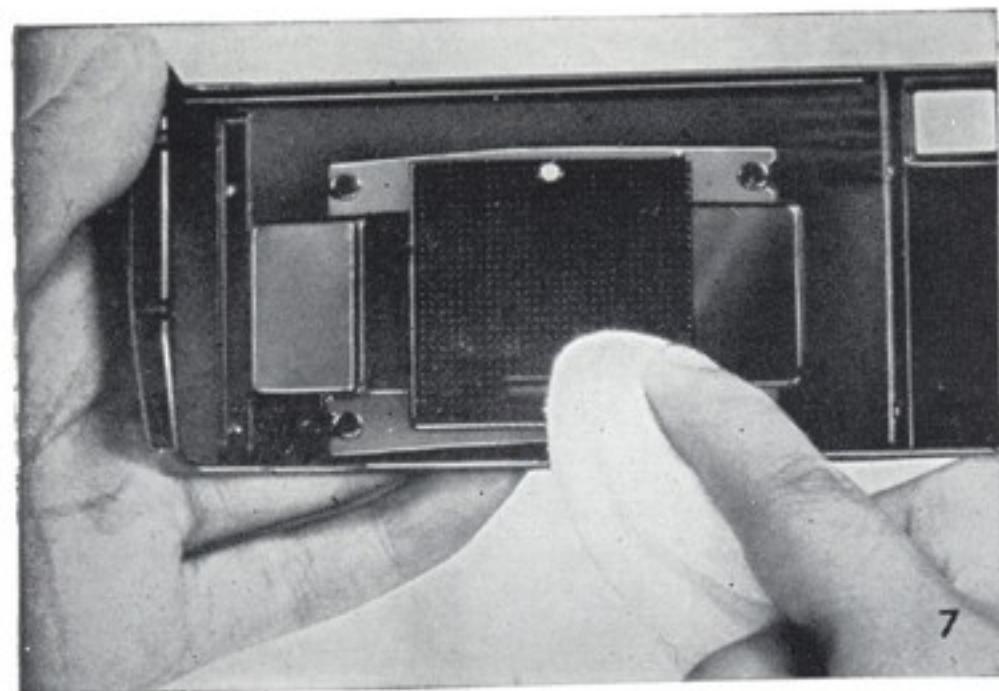
- ①裏蓋開閉金具を引いて裏蓋を開きます。
(写真3)
- ②フィルム巻戻しクランクを引いてパトローネ受軸を引込め、パトローネ入りの新しいフィルムを(写真4)のように入れ、クランクをもとへ戻します。キッチリ戻らないときは、クランクを少し廻わしながら押し込むようにしてみてください。
- ③フィルムの先端をフィルム巻取り軸のミゾにしっかり差しこみます。(写真5)
- ④フィルムには上下両縁に並んだ穴があいていますが、下縁の穴がスプロケットの爪にかかるまでフィルムを巻上げてください。
(写真6)

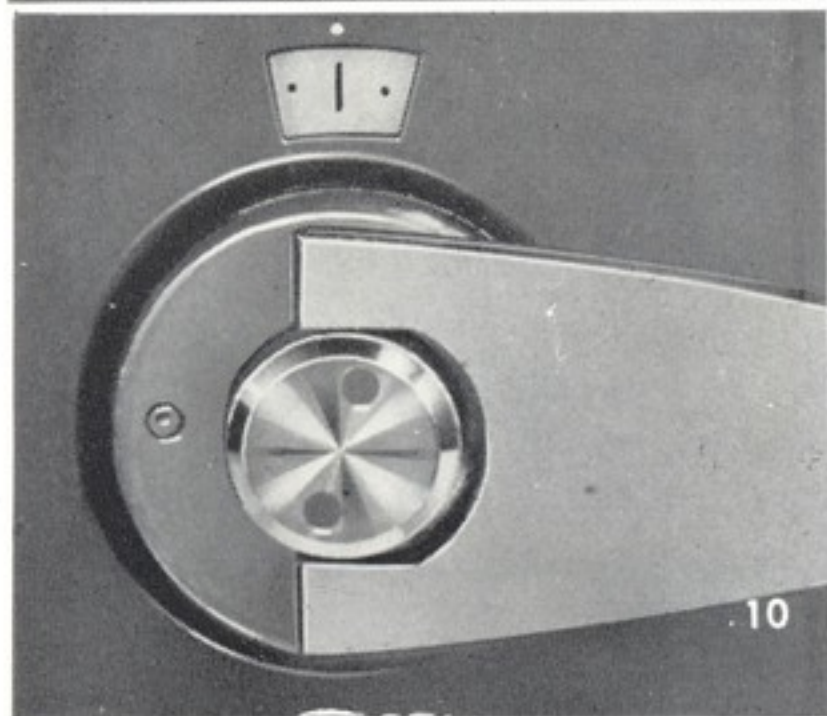
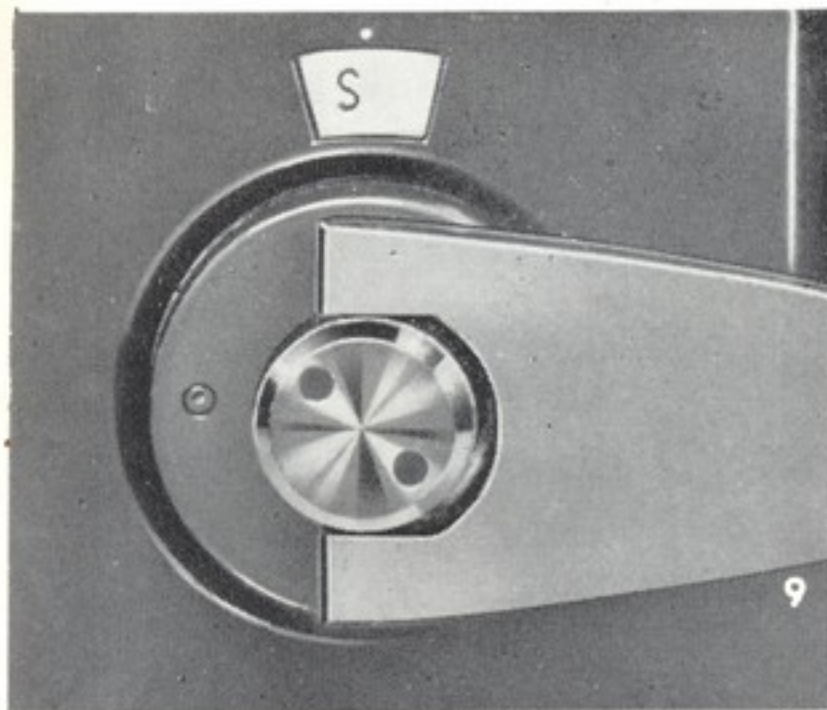


- ⑤ フィルムの穴とスプロケットの爪とがうまく噛み合っているのをたしかめながら裏蓋を閉めます。

このとき、裏蓋のフィルム圧板に、ゴミや指紋がついていないかどうかを確かめ、もしついていましたらやわらかいガーゼなどで軽く拭いてください。(写真7)

- ⑥ トリガーレバーを左に、止まるまで一杯にまわします。(写真8)



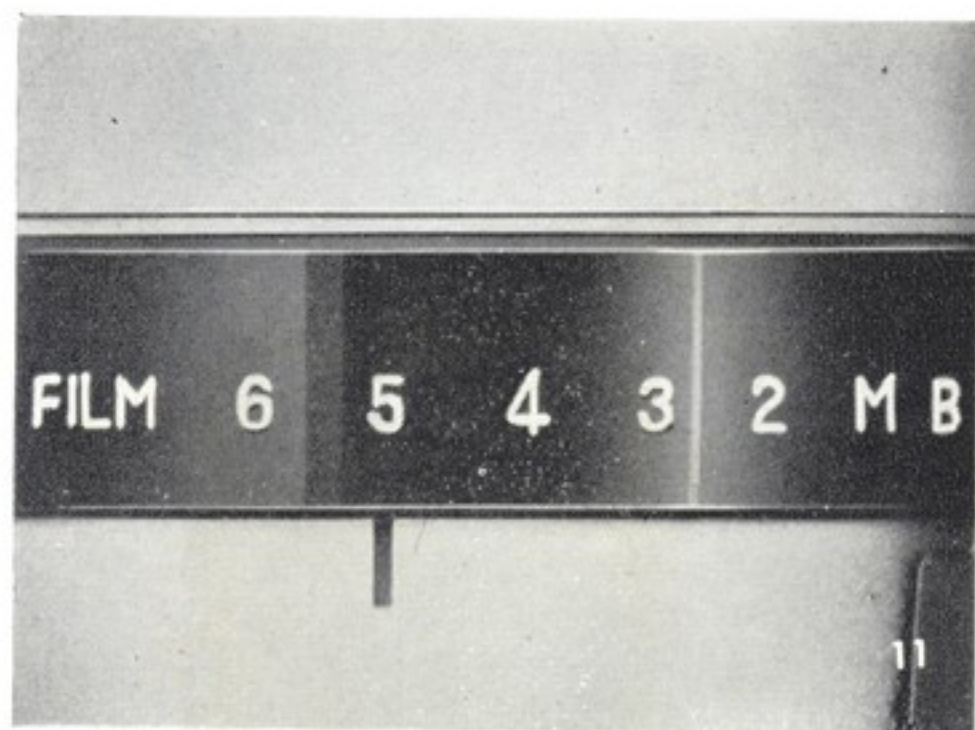


- ⑦このとき、フィルム枚数計は“S”を指しています。(写真9)
- ⑧1度シャッターレバーを押してからトリガーレバーを引き、カチャツと音がして止るまで一杯に廻わします。これでフィルムが巻上げられ、シャッターがセットされます。
- ⑨フィルムがうまく巻きあげられているかどうかを確認するためには、巻もどしクラックをとりつけた部分のパトローネ受軸を見てください。トリガーレバーを引くとき、この軸が回転すればフィルムが巻上げられている証拠です。写真(9、10)
- ⑩カラ写しを2回行ってください。つぎにレバーを引いたとき、フィルム枚数計が“1”を指します。(写真10)ここから第1枚目の撮影がはじまるわけです。

〈3〉 ちょっと待ってください

撮影準備は完了しましたが、シャッターを押す前に、一ぺんみておかなければならない所があります。……フィルムナンバーダイヤルです。

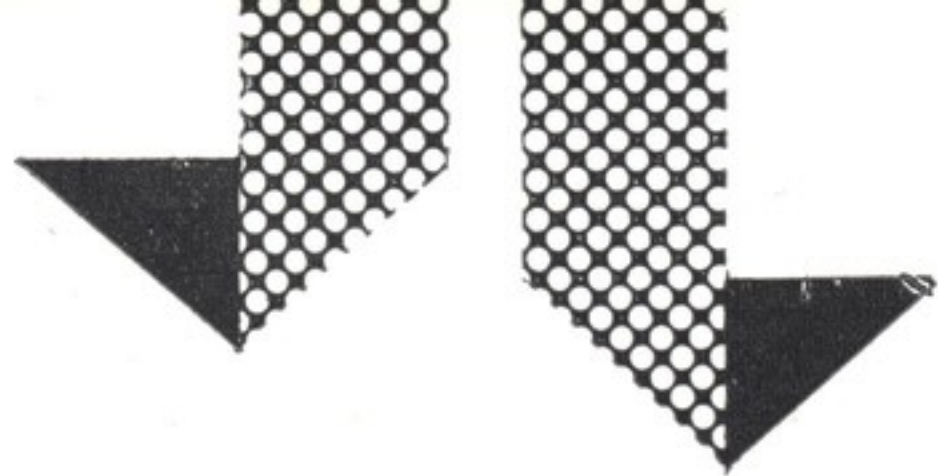
フィルムには、いろいろな種類がありますが、どんなフィルムを入れてもらったのかまではさすがのリコーオート35でもわかりませんから、それをカメラに教えこむわけです。これを忘れますと、せっかく撮影しても露出が全部ちがっていて思わぬ失敗をすることも



ありますから、ご注意ください。

- ✦ つぎの表は、感光度のことなる各種フィルムとそれに適応するフィルムナンバーダイヤル番号との関係を示したものです。たとえば、あなたが今お使いになろうとしているフィルムがSSフィルムであれば、フィルムナンバーダイヤルの番号は“5”ですから、ダイヤルを廻わして赤い線に“5”を合わせておけばOKというわけです。(写真11)

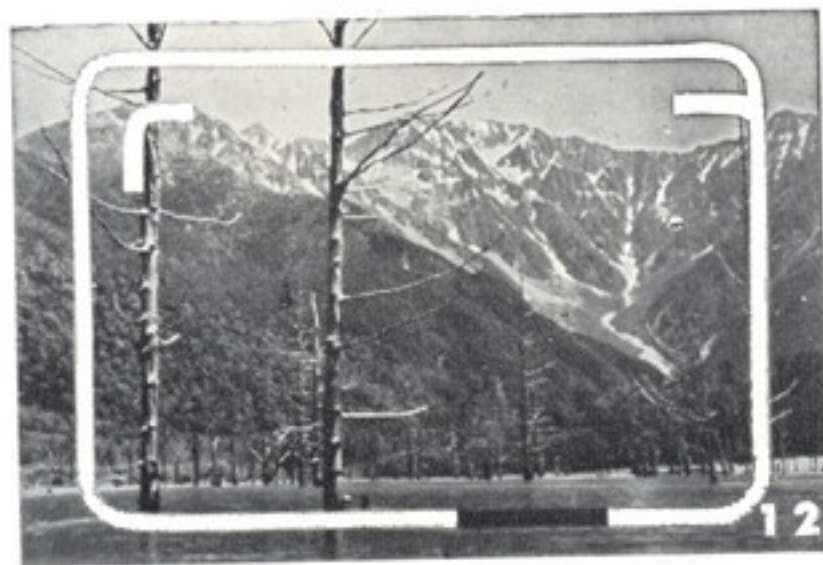
フィルムナンバーダイヤルの番号	カラーフィルム	白黒フィルム
2	さくらカラー (旧) [ASA10] フジカラー (ポジ) DAYLIGHT KODACHROME (旧) [ASA10]	
3	フジカラー (ネガ) KODACHROME II DAYLIGHT ANSCOCHROME EKTA CHROME KODACOLOR	ネオパンF
4	さくらカラー (新) [ASA50] コニカラー (ネガ) AGFA COLOR CN17	Sフィルム
5	DAYLIGHT SUPER ANSCOCHROME	SSフィルム PLUS-X PAN
6	HIGH SPEED EKTA CHROME	SSSフィルム TRI-X PAN



<4> いよいよ本番

- ①ファインダーをのぞきます。視野に白い枠が浮き出して見えます。この枠内が写る範囲ですから、被写体がうまく枠におさまるように撮影位置を決めます。(写真12)

※接写用レンズを使って近距離撮影するばあいは、枠内にある2つのマーク(視差補正マーク)の内側だけが写る範囲になります。



※ファインダーの白枠の下側に赤い線が見えますが、これは露光不足警告マークです。枠のソト（下側）に銀色に光る針が見え、この針は、レンズを明るい方から暗い方へ動かしますと少しずつ移動するのがわかります。針が赤い線のところへかかったときは露光不足で、そのままでは写りません。こういうばあいはダイヤルのB（バルブ）を使って長時間露出をするか、または照明で明るさを増したりフラッシュを使ったりしなければなりません。（写真13 上:可、下:不可）

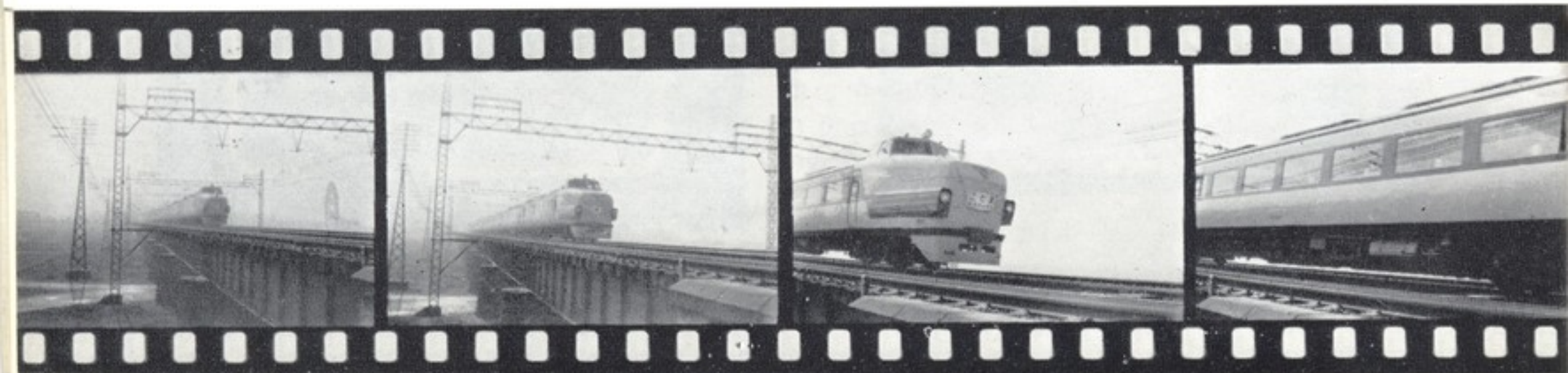


②被写体が正しく枠内におさまりましたら、カメラが動かないようにしっかり構え、静かにシャッターレバーを押します。

※シャッターを押すときにカメラが動かないようにするには、両足をガッチリふんまえ、カメラをしっかり持って顔の一部に押しつけ、息をとめます。(写真14)

なお、フィルムナンバーダイヤル番号3, 2, M, Bで撮影されるばあいは、できれば三脚をご使用になれば理想的です。

③フィルムを送ります。トリガーレバーを左へ一杯に引きますと、カチャッと音がして動かなくなります。これでフィルムが巻上げられ、同時に次のシャッターもセットされたのです。1秒に1枚ずつでも、らくに早撮りすることができます。(写真15)



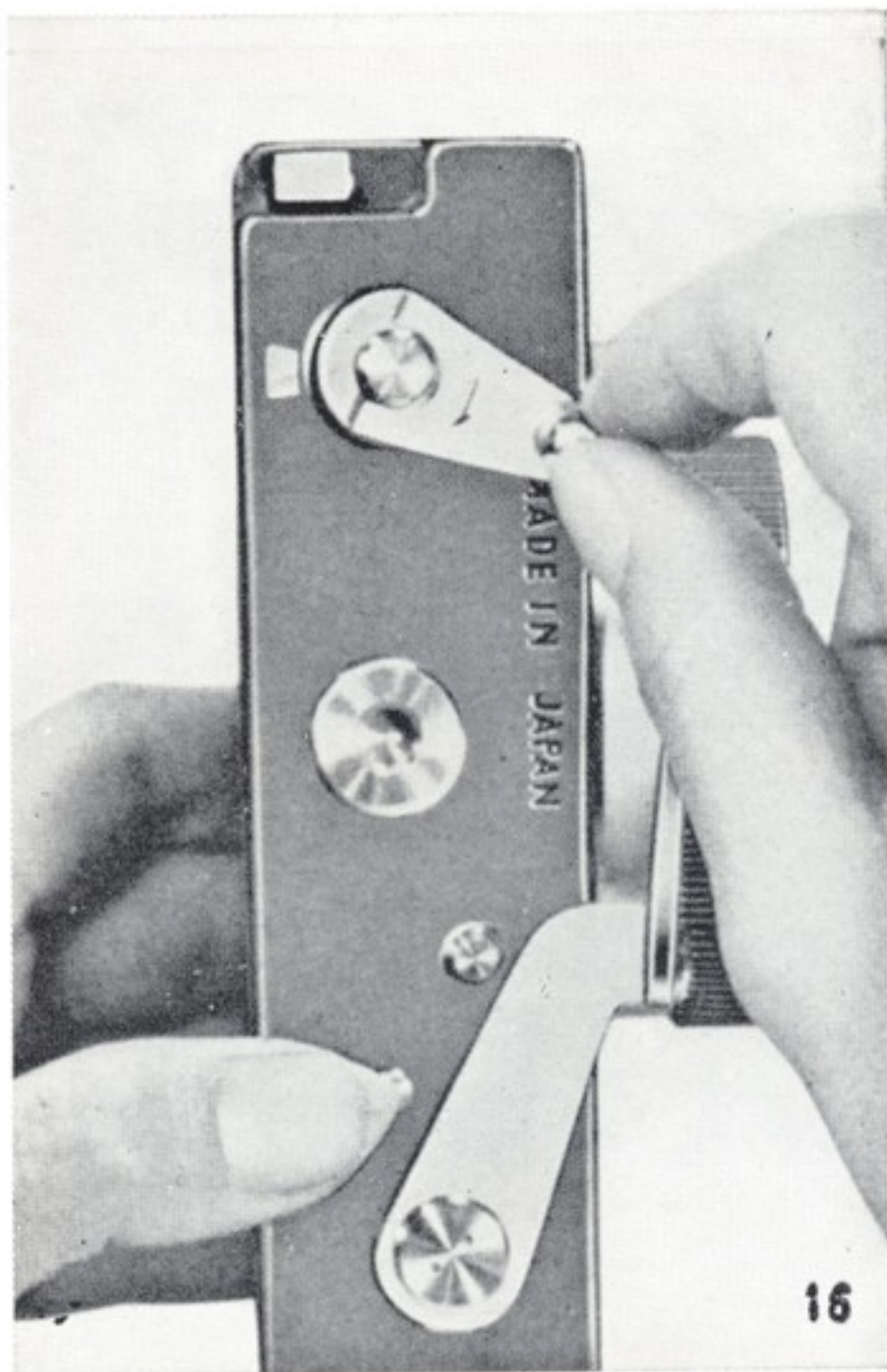
＜5＞ 写し終わったら

全部写し終わりましたら、フィルムをパトローネに巻戻します。フィルム巻戻しクランクを十分起こし、巻戻しボタンを押しながら、クランクを矢印の方向に廻わします。

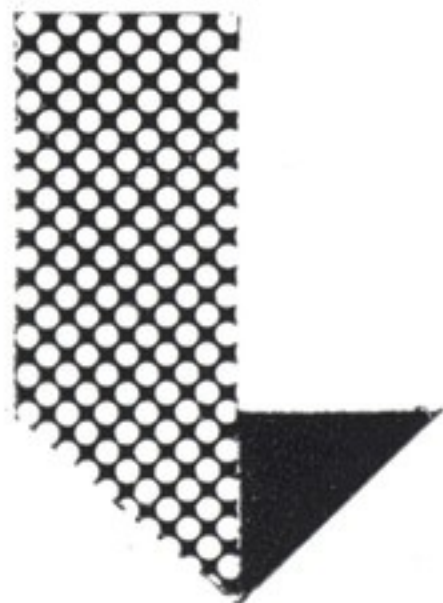
(写真16)

フィルムが全部パトローネに巻戻されますと、クランクが急に軽くなります。そこで裏蓋を開き、クランクを引き出しておいてパトローネを取り出します。このばあいも、入れるときと同じく、直射日光を避けてください。

- ※巻戻しを開始しますと、フィルム枚数計は自動復元して、もと通り“S”を指します。
- ※フィルムを巻戻さないうちに裏蓋をあけると全部駄目になってしまいますから注意しましょう。



特殊な使いかた <1> フラッシュ撮影



①ファインダー内の指針が赤線の部分に来るような暗さのばあい、フラッシュ撮影を行います。

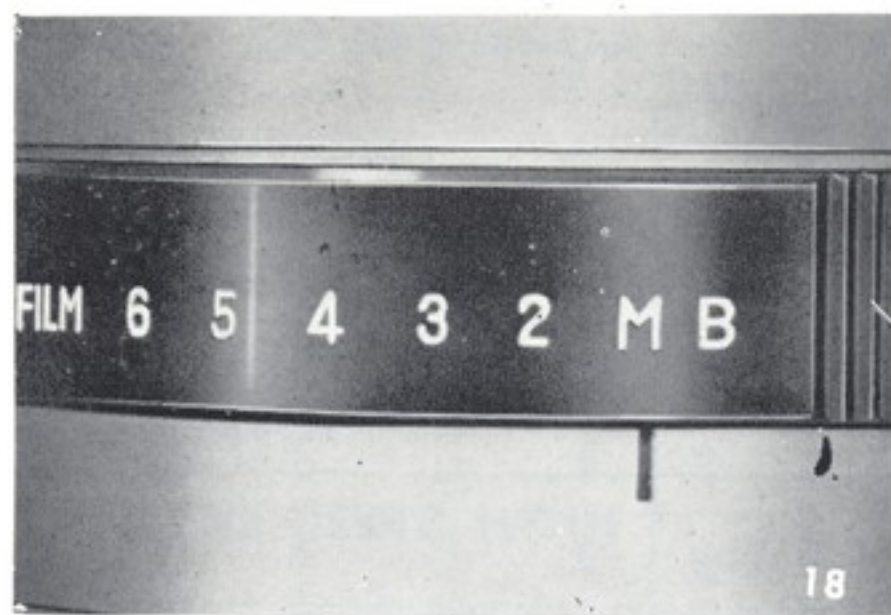
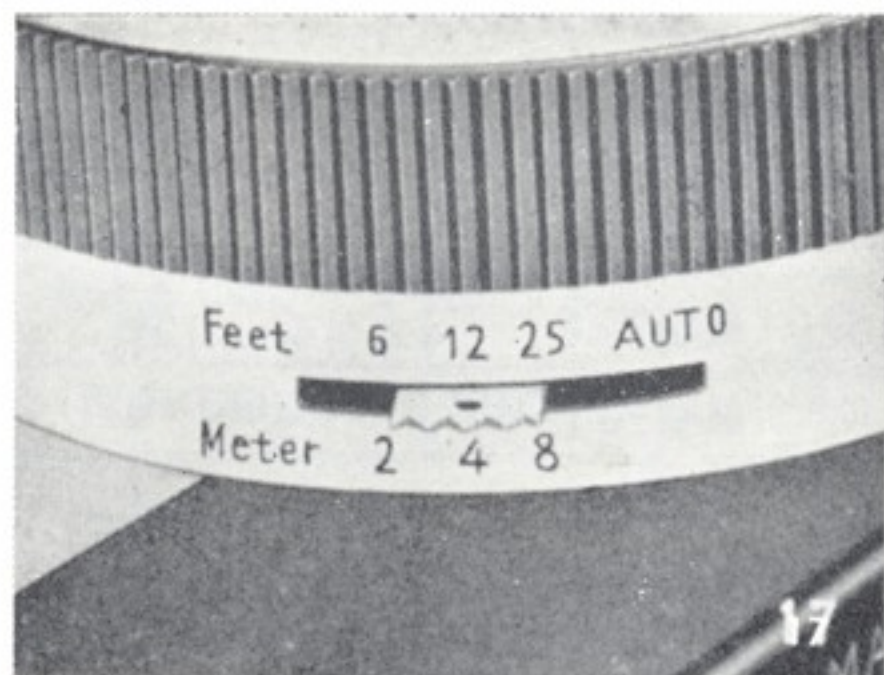
②フラッシュガンは専用のリコーフラッシュガン BC-605 型をお使いください。ノーコードコンタクト式ですから、カメラにこのガンを取りつけ、フラッシュ電球をはめこむだけで完全に同調します。コードなしですから接触不良等の心配はありません。

③フラッシュ電球は M 級の球を使います。

④フィルムの種別と使用する球との関係は別表 (22 ページ) の通りです。

- (註) 1. この表はカメラの後側にもついています。
2. *印のばあいは、フラッシュ撮影距離調節レバー (次項参照) を 1 段遠距離にずらしてください。

- ⑤被写体の位置が 2 m以上はなれているばあいは、フラッシュ撮影距離調節レバーを、その距離目盛に合わせてセットしてください。(写真17)
- ⑥フラッシュ撮影のときは、フィルムの種別に関係なくフィルムナンバーダイヤルを“M”に合わせておきます。(写真18)



フィルムナン バーダイヤル 番号	カラーフィルムの場合		白黒フィルムの場合	
	フ ィ ル ム	フ ラ ッ シュ	フ ィ ル ム	フ ラ ッ シュ
2	さくらカラー(旧)[ASA10] フジカラー(ポジ) DAYLIGHT KODACHROME(旧)[ASA10]	*NO. 5B		
3	フジカラー(ネガ) KODACHROME II DAYLIGHT ANSCOCHROME EKTA CHROME KODA COLOR	NO. 5B	ネオパンF	NO. 3
4	さくらカラー(新)[ASA50] コニカラー(ネガ) AGFA COLOR CN17	NO. 3B	Sフィルム	NO. 0
5	DAYLIGHT SUPER ANSCOCHROME	2MB	SSフィルム PLUS-X PAN	US 1 2 M MX-O
6	HIGH SPEED EKTA CHROME		SSSフィルム TRI-X PAN	US 1 2 M MX-O

〈2〉 露出を調節したいとき

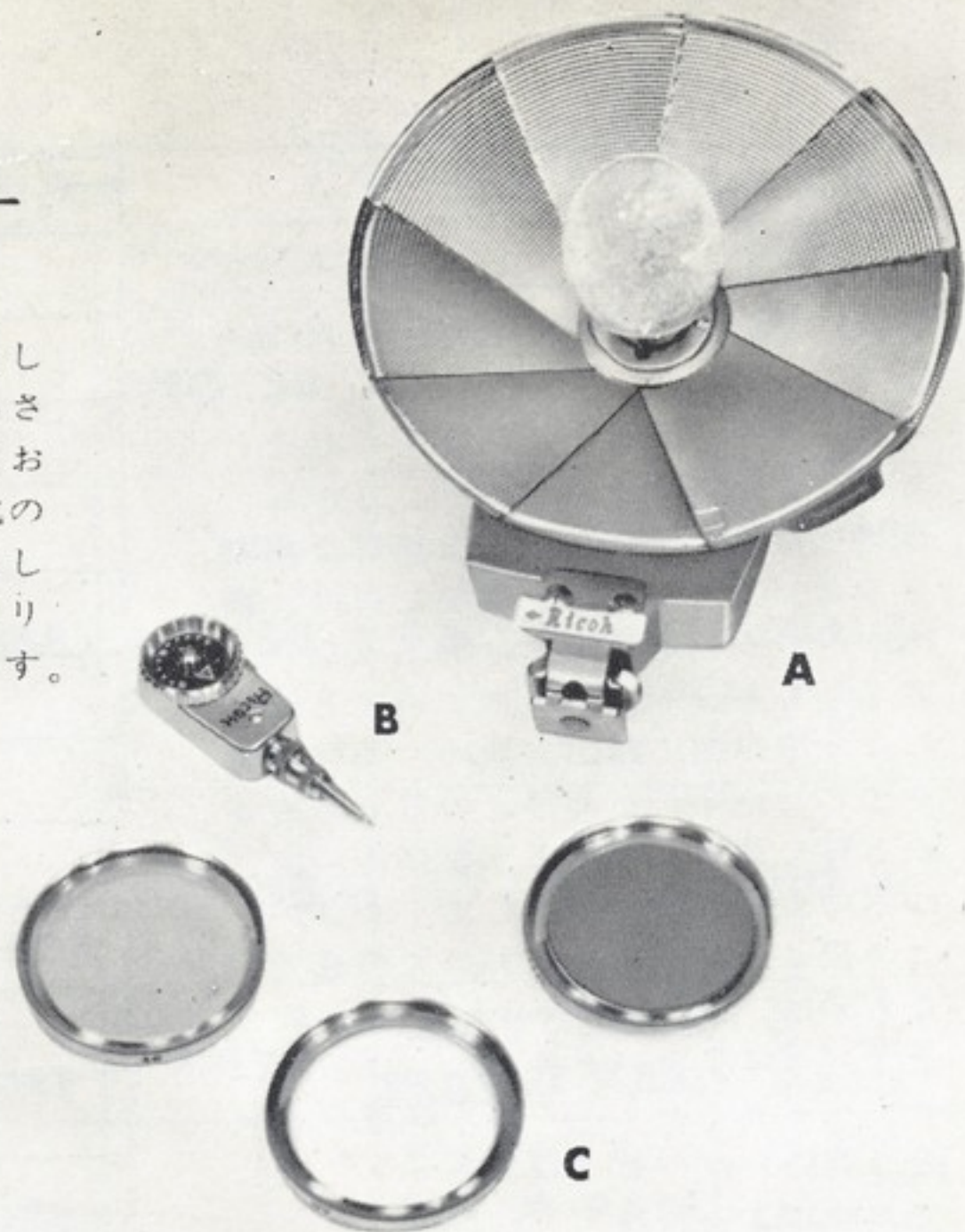
リコーオート 35は、ご説明いたしました通り完全自動カメラです。しかし、複雑な機構を使いこなして特殊な撮影をなさってこられたかたがたには、機械が決める一定露出では物足りない、どうしてもシャッタースピードと絞りによって自由に露出を決め、特殊効果を出したい……とお考えの方もあろうかと存じます。そのような場合は、つぎの表によって調節してください。この表はリコーオート 35の虎の巻ですたとえば、シャッターを $\frac{1}{100}$ 秒、絞りを $f/8$ にしたいときには、フィルムナンバーダイヤルを“5”、フラッシュ距離調節レバーを“12フィート”にしておけばよいわけです。

フィルムナンバーダイヤル	シャッタースピード
B	バルブ
M	1 / 25 秒
2	1 / 25 秒
3	1 / 32 秒
4	1 / 50 秒
5	1 / 100 秒
6	1 / 200 秒

フラッシュ距離調節レバー	絞り
25 フィート	f / 4
12 フィート	f / 8
6 フィート	f / 20

アクセサリ

さて、いろいろご説明申し上げて参りましたが、文字に書くと複雑なことも、じっさいにやってみると実に簡単で、カメラにおなれになるにしたがってだんだんと変化のある写真をとりたいとお考えになるかもしれません。そこで、いろいろなアクセサリ（附属品）をご紹介します。



リコーフラッシュガン

¥. 1,800

フラッシュ撮影をするためのガンには色々な種類がありますが、リコーオート35には専用のBC-605型をお使いください。コードは不要、アクセサリ・シューにはめこむだけの手数です。

(写真A)

リコーセルフタイマー

¥. 540

写す人も写真に入りたいばあいがしばしばあるものです。会合に、旅行に、家庭に、ぜひ欲しいものです。リコーセルフタイマーは、ボタンを押してからシャッターが切れるまでの間隔を、5秒～15秒まで自由に調節できます。

(写真B)

リコーフィルター (46mmスクリュース式)

UV.....¥. 650

Y₂¥. 650

ND4¥. 800

写真に立体感をもたせたり、余分な色を除いたり、明るすぎてドギツくなるのを防いだり、そういうときにフィルターが重要な役目をします。リコーオート35専用フィルターには、つぎの3種があります。 (写真C)

UV.....紫外線と青の一部を吸収。カラー撮影のばあい、余分の青味をとるのでよく使われます。写真をすっきりさせるために白黒にももちろん有効です。

Y₂紫外線・青紫色などを吸収しますから、青空は暗く、白い雲や山肌などがクッキリ浮き出して写ります。

ND4光量だけ制限し、色吸収はしません。カラーで晴れた雪景色や日照りの海岸で撮影するときなど最適です。

なお、フィルターを用いても、フィルムナンバーダイヤルを調節する必要はありません。

カメラの手入れ と保存

カメラの性能を、いつでも期待どおり発揮させるには、ふだんの手入れと適切な保存がたいせつです。

リコーオート 35は、つぎのように心にくばって、いつまでも愛用してください。

- ①レンズの埃やゴミを払うときは、かならずレンズ刷毛を使ってください。指紋などがつきまじらしたら、やわらかいサラシ木綿かカーゼに少量のアルコールをつけ、中心部から外側へうずまきを描くように軽くふいてください。
- ②海岸や雨の日に使ったときは、乾いたやわらかい布で、とくにメッキの部分をよくふいておいてください。

- ③シャッターをセットしたまま何日間も放っておかないでください。シャッターのスプリングを弱めることになります。
- ④レンズとフォトセルリングを保護するために、写さないときは常にレンズキャップをかぶせておきましょう。
- ⑤磁石はもちろんラジオやテレビなど磁気のあるもののそばに、カメラを置かないようにご注意ください。
- ⑥カメラを保存するときは、皮ケースから取り出し、カメラだけをシリカゲル（乾燥剤）の袋と一しよにボール箱に入れて、湿気がなく直射日光の当たらない場所にしまってください。





理研光学工業株式会社

東京・銀座4-5 TEL(561) 8881~8

サービス
センター

東京・銀座4-5・大阪市東区瓦町5
名古屋市中区西瓦町・福岡市東中洲210
札幌市南一条西6・仙台市外記丁12

H 01030 KBS ⑩